



# 運用ガイド0 商品設計編



# 運用ガイド0 商品設計編 目次

---

1. 名刺商材の商品設計 .....	- 3 -
1.1 商品登録の準備(名刺) .....	- 3 -
商品構造 .....	- 3 -
商品のまとめ方 .....	- 5 -
価格表のまとめ方 .....	- 9 -
1.2 データ登録の進め方 .....	- 10 -
2. 封筒商材の商品設計 .....	- 11 -
2.1 商品登録の準備(封筒) .....	- 11 -
用意する情報 .....	- 11 -
商品設計で確認するもの .....	- 12 -
商品の構造とまとめ方 .....	- 13 -
部材のまとめ方 .....	- 15 -
デザイングループのまとめ方 .....	- 17 -
2.2 データ登録の進め方 .....	- 19 -
3. 挨拶状・年賀状商材の商品設計 .....	- 20 -
3.1 商品登録の準備(挨拶状・年賀状) .....	- 20 -
価格表と商品構造 .....	- 20 -
商品のまとめ方 .....	- 21 -
価格表のまとめ方 .....	- 22 -
3.2 データ登録の進め方 .....	- 23 -

# 名刺商材の商品設計

名刺商材をジグミーシステムに登録するにあたり、事前に必要なことについて解説します。

## 1.1 商品登録の準備(名刺)

商品

ジグミーシステムでは、注文者(エンドユーザー)が購入する名刺を、同一の価格帯の「商品」というグループごとに登録します。

デザイングループ  
部材

ひとつの「商品」には、ひとつの「価格体系」が対応します。それに選択できるデザインをまとめた「デザイングループ」、選択できる複数の「部材(用紙)」が結びついています。

## 商品構造

ジグミーでは、名刺のデザインを1枚ごとに商品として登録するではありません。同じ価格・用紙をもつデザインをまとめたグループを、ひとつの「商品」として登録します。

たとえ同じ価格体系のデザインが 1,000 点あっても、1,000 組の価格データを登録する必要はありません。同じ価格体系の商品データをひとつ登録すれば、あとはデザインと部材を割り当てるだけで済みます。

### 1. 商品の構造

「商品」とは、同じ価格体系を持つデザインと部材を、ひとつのグループにまとめたものです。


ひとつの「商品」には、選択可能な複数のデザインが含まれます。

ひとつの商品＝ひとつのデザインではないことに注意してください。

▶ ひとつの商品につき、同じ価格体系の名刺デザインが複数結び付いています。注文時にいずれかのデザインを選択します。

注文者(エンドユーザー)にとっての1商品

商品は、バックオフィスの「商品マスター管理」で登録します。その後、デザイングループ・部材(用紙)・価格体系(価格表)を割り当てます。

商品1「表面カラー」				
価格体系		デザイングループ(表)	デザイングループ(裏)	部材(用紙)
～100 枚	¥ 2,400		(なし)	普通紙 光沢紙 再生紙
～200 枚	¥ 3,600			
～300 枚	¥ 4,600			
～400 枚	¥ 5,400			
～500 枚	¥ 6,000			

この商品の価格体系です。  
「価格表 CSV」データを入力し、バックオフィスの「価格マスター管理」で読み込みます。

選択可能なデザイン(表)のグループです。グループには最低1種のデザインが含まれます。

各デザインはデザイン情報管理ツールで作成し、グループにまとめて書き出します。それをバックオフィスの「商品マスター管理」で読み込んで登録します。

選択可能なデザイン(裏)のグループです。  
片面のときは不要です。

選択可能な部材(用紙)です。商品には最低1種の部材が含まれます。

部材の名称とサムネイル画像は、バックオフィスの「商品マスター管理」で登録します。




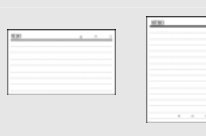
## 2. 価格体系が違うデザインは、商品に分ける

次のようなデザインは、別の商品に分けて登録する必要があります。

- ① 同じ価格体系ではないデザイン
- ② 選択できる部材が異なるデザイン
- ③ 同じデザイングループに入らないデザイン
- ④ デザイングループの表・裏の組み合わせが異なる場合

上記のような場合、商品に分けて登録しなければなりません。

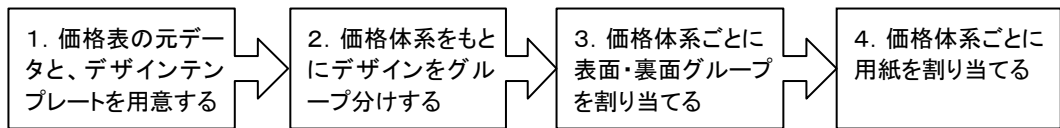
### ●商品が3つある例

商品1「表面カラー」				
価格体系		デザイングループ(表)	デザイングループ(裏)	部材(用紙)
～100 枚	¥ 2,400		(なし)	普通紙 光沢紙 厚手用紙
～200 枚	¥ 3,600			
～300 枚	¥ 4,600			
～400 枚	¥ 5,400			
～500 枚	¥ 6,000			
<div>デザイングループが同じでも、価格体系が違うときは、別の商品に分けます。</div> <div>デザイングループが同じでも、部材の選択肢が違うときは、別の商品に分けます。</div>				
商品2「表面カラー エコノミー」				
価格体系		デザイングループ(表)	デザイングループ(裏)	部材(用紙)
～100 枚	¥ 2,000		(なし)	再生ホワイト 再生クリーム
～200 枚	¥ 3,200			
～300 枚	¥ 4,200			
～400 枚	¥ 5,000			
～500 枚	¥ 5,600			
価格体系や部材が同じでも、選択できるデザインが異なるときは、別の商品に分けます。				
商品3「両面モノクロ」				
価格体系		デザイングループ(表)	デザイングループ(裏)	部材(用紙)
～100 枚	¥ 2,000			再生ホワイト 再生クリーム
～200 枚	¥ 3,200			
～300 枚	¥ 4,200			
～400 枚	¥ 5,000			
～500 枚	¥ 5,600			

実際に取扱商品をジグミーに登録するには、デザインを価格体系と部材ごとに分け、どのような商品にまとめるかを検討します。その考え方については次ページ以降で解説します。

## 商品のまとめ方

ジグミーシステムに登録する名刺を、具体的な商品にまとめる方法について解説します。この作業をしっかりと行わないと、商品や価格データの登録ができません。



### 1. 価格表の元データと、デザインテンプレートを用意する

#### (1) 価格表の元データの例

あらかじめ、価格体系ごとに商品を分類した価格表を用意してください。

この例は一般的なもので、デザインの種類ごとに、5つの価格体系に分かれています。

通常はこの価格体系ごとに「商品」が作られます。

価格体系(5つ)→5つの商品グループとなります。

商品→	① ② ③ ④ ⑤				
	表面カラー	表面カラー/裏面カラー	表面カラー/裏面モノクロ	表面モノクロ	表モノクロ/裏モノクロ
100 枚	¥ 2,400	¥ 3,200	¥ 2,800	¥ 1,800	¥ 2,100
200 枚	¥ 3,600	¥ 4,500	¥ 4,000	¥ 2,700	¥ 3,000
300 枚	¥ 4,600	¥ 5,600	¥ 5,000	¥ 3,400	¥ 3,800
400 枚	¥ 5,400	¥ 6,500	¥ 5,800	¥ 3,900	¥ 4,400
500 枚	¥ 6,000	¥ 7,200	¥ 6,400	¥ 4,300	¥ 4,900

※実際の価格表のデータは、書式の決まった Excel シート(CSV 形式)に入力します。詳しくは「運用ガイド2 マスター登録編」で解説します。

#### (2) デザインテンプレートの例

デザインテンプレートは、別途デザイン情報管理ツールで作成してください。

「運用ガイド1 デザイン作成編」を参照してください。

・表面用、裏面用のデザインテンプレートは、別々に作成してください。

ひとつのデザインテンプレートを、表面用・裏面用に共用することはできません。

・カラー、モノクロのデザインテンプレートは、別々に作成してください。

ひとつのデザインテンプレートを、カラーとモノクロで共用することはできません。

#### 作成するデザインテンプレート例

	表面用	裏面用	
カラー			共用不可
モノクロ			

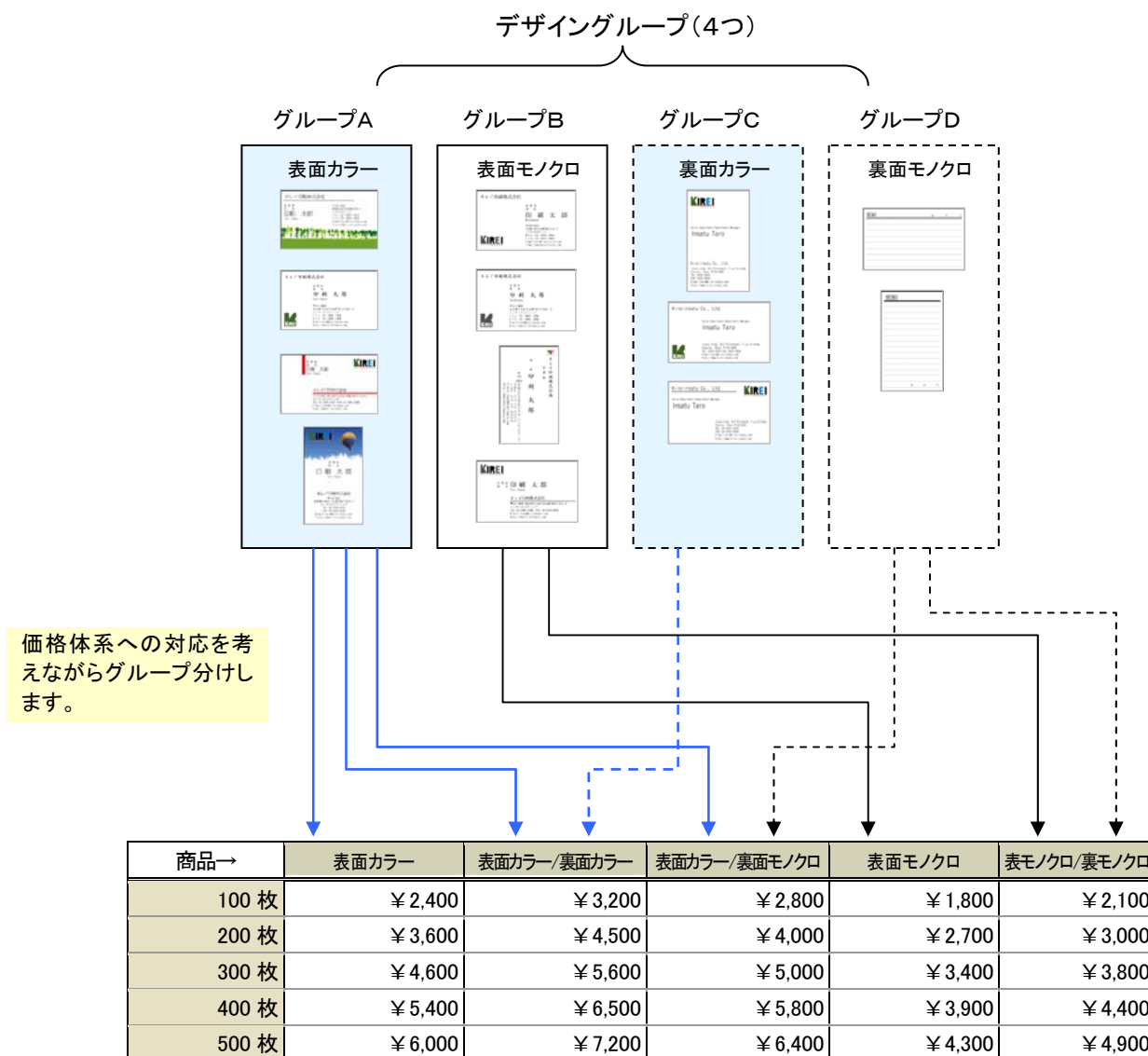
共用不可

## 2. 価格体系を元にデザインをグループ化する

作成した表面と裏面のデザインテンプレートを、価格表の該当する価格体系に当てはまるようにグループ分けします。これらを「デザイングループ」といいます。

デザイングループ

この例は一般的なもので、表面カラー・表面モノクロ・裏面カラー・裏面モノクロの4つのデザイングループに分けています。



- ・両面印刷の場合は、表面デザインのグループと、裏面デザインのグループを作ります。  
例えば上記の価格表で、商品グループ「表面カラー／裏面カラー」には、「表面カラー」「裏面カラー」の2つのデザイングループを作って割り当てます。
- ・表面のデザインテンプレートと裏面のデザインテンプレートを、同じデザイングループに入れることはできません。
- ・ひとつのデザインテンプレートを、複数のデザイングループに入れることはできません。
- ・ひとつのデザイングループを、複数の商品グループに割り当てることは可能です。  
上記では、ひとつのデザイングループ「表面カラー」が、3つの商品グループに対応しています。

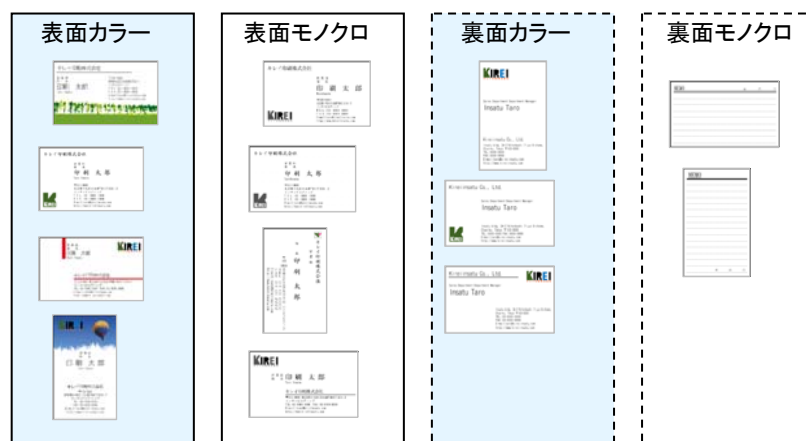
### 3. 価格体系ごとに表面・裏面グループを割り当てる

前ページでも考慮しながらデザイングループを作りましたが、両面印刷の場合、ひとつの価格体系には表面用のデザイングループと、裏面用のデザイングループの2つが対応します。この組み合わせを整理しておきます。

価格体系(5つ)					
	①	②	③	④	⑤
商品→	表面カラー	表面カラー/裏面カラー	表面カラー/裏面モノクロ	表面モノクロ	表モノクロ/裏モノクロ
100 枚	¥ 2,400	¥ 3,200	¥ 2,800	¥ 1,800	¥ 2,100
200 枚	¥ 3,600	¥ 4,500	¥ 4,000	¥ 2,700	¥ 3,000
300 枚	¥ 4,600	¥ 5,600	¥ 5,000	¥ 3,400	¥ 3,800
400 枚	¥ 5,400	¥ 6,500	¥ 5,800	¥ 3,900	¥ 4,400
500 枚	¥ 6,000	¥ 7,200	¥ 6,400	¥ 4,300	¥ 4,900



デザイングループ(4つ)



表面用・裏面用デザイングループの対応を整理

商品	価格体系	表面デザイングループ	裏面デザイングループ
表面カラー	①	表面カラー	
表面カラー/裏面カラー	②	表面カラー	裏面カラー
表面カラー/裏面モノクロ	③	表面カラー	裏面モノクロ
表面モノクロ	④	表面モノクロ	
表面モノクロ/裏面モノクロ	⑤	表面モノクロ	裏面モノクロ

- ・両面印刷の場合、表面・裏面とも、割り当てられるデザイングループは1つずつです。名刺の注文時には、割り当てられている表面デザイングループの中から1種、裏面デザイングループの中から1種のデザインを選択することができます。
- ・片面印刷の場合、表面のデザイングループのみ割り当てます。

#### 4. 価格体系ごとに部材を割り当てる

前ページで表面・裏面デザイングループを割り当てた価格体系ごとに、選択可能な部材(用紙)を割り当てます。



商品	部材	価格体系	表面デザイングループ	裏面デザイングループ
表面カラー	普通紙 再生紙 光沢紙	①	表面カラー	
表面カラー/裏面カラー	普通紙 再生紙 光沢紙	②	表面カラー	裏面カラー
表面カラー/裏面モノクロ	普通紙 再生紙 光沢紙	③	表面カラー	裏面モノクロ
表面モノクロ	普通紙 再生紙	④	表面モノクロ	
表面モノクロ/裏面モノクロ	普通紙 再生紙	⑤	表面モノクロ	裏面モノクロ

これで、価格体系ごとにデザイングループと部材が割り当てられた、5つの商品ができました。あとはこれをもとにして、商品・デザイングループ・デザインテンプレート・部材をバックオフィスから登録し、価格表データも別途作成して登録します。

なお、選択する部材によって価格が変動する場合は、部材ごとに価格体系が変わることになるので、商品に分ける必要があります。たとえば上の例で、最初の商品「表面カラー」の価格を、3つの部材ごとに変えたい場合は、商品を3つの部材別に分割します。

##### ●部材ごとに価格体系が変わるときは、商品に分ける

商品	部材	価格体系	表面デザイングループ	裏面デザイングループ
表面カラー＋普通紙	普通紙	①-1	表面カラー	
表面カラー＋再生紙	再生紙	①-2	表面カラー	
表面カラー＋光沢紙	光沢紙	①-3	表面カラー	
表面カラー/裏面カラー	普通紙 再生紙 光沢紙	②	表面カラー	裏面カラー
表面カラー/裏面モノクロ	普通紙 再生紙 光沢紙	③	表面カラー	裏面モノクロ
表面モノクロ	普通紙 再生紙	④	表面モノクロ	
表面モノクロ/裏面モノクロ	普通紙 再生紙	⑤	表面モノクロ	裏面モノクロ

## 価格表のまとめ方

価格表をシステムに登録する際は、Excel などを利用し、価格登録用 CSV ファイルというファイルに入力します。あらかじめ、価格体系の部分に、枚数ごとの具体的な価格を列举して、整理しておくとう便利です。

枚数ごとの価格を1行ずつ列举しておく



商品	部材	価格体系		表面デザイングループ	裏面デザイングループ
表面カラー	普通紙 再生紙 光沢紙	100 枚	¥ 2,400	表面カラー	
		200 枚	¥ 3,600		
		300 枚	¥ 4,600		
		400 枚	¥ 5,400		
		500 枚	¥ 6,000		
表面カラー/裏面カラー	普通紙 再生紙 光沢紙	100 枚	¥ 3,200	表面カラー	裏面カラー
		200 枚	¥ 4,500		
		300 枚	¥ 5,600		
		400 枚	¥ 6,500		
		500 枚	¥ 7,200		
表面カラー/裏面モノクロ	普通紙 再生紙 光沢紙	100 枚	¥ 2,800	表面カラー	裏面モノクロ
		200 枚	¥ 4,000		
		300 枚	¥ 5,000		
		400 枚	¥ 5,800		
		500 枚	¥ 6,400		
表面モノクロ	普通紙 再生紙	100 枚	¥ 1,800	表面モノクロ	
		200 枚	¥ 2,700		
		300 枚	¥ 3,400		
		400 枚	¥ 3,900		
		500 枚	¥ 4,300		
表面モノクロ/裏面モノクロ	普通紙 再生紙	100 枚	¥ 2,100	表面モノクロ	裏面モノクロ
		200 枚	¥ 3,000		
		300 枚	¥ 3,800		
		400 枚	¥ 4,400		
		500 枚	¥ 4,900		

●部材ごとに価格体系が変わる例(商品に分けている)

商品	部材	価格体系		表面デザイングループ	裏面デザイングループ
表面カラー＋普通紙	普通紙	100 枚	¥ 2,400	表面カラー	
		200 枚	¥ 3,600		
		300 枚	¥ 4,600		
		400 枚	¥ 5,400		
		500 枚	¥ 6,000		
表面カラー＋再生紙	再生紙	100 枚	¥ 2,200	表面カラー	
		200 枚	¥ 3,400		
		300 枚	¥ 4,400		
		400 枚	¥ 5,200		
		500 枚	¥ 5,800		
表面カラー＋光沢紙	光沢紙	100 枚	¥ 2,450	表面カラー	
		200 枚	¥ 3,650		
		300 枚	¥ 4,650		
		400 枚	¥ 5,450		
		500 枚	¥ 6,050		
表面カラー/裏面カラー	普通紙 再生紙 光沢紙	100 枚	¥ 3,200	表面カラー	裏面カラー
		200 枚	¥ 4,500		
		300 枚	¥ 5,600		
		400 枚	¥ 6,500		
		500 枚	¥ 7,200		

(以下略)

実際の価格表データの入力方法については、「運用ガイド2 マスター登録編」の「6. 価格・送料の登録」で解説します。

## 1.2 データ登録の進め方

商品の設計が終わったら、次の順に進めてください。

初めに名刺のデザインテンプレートを作成します。これには専用のテンプレートエディタ「デザイン情報管理ツール」を使用します。

「運用ガイド1(名刺・封筒) デザイン作成編」を参照してください。

### 1 デザインテンプレートを作成します。

商品設計のとおり、表面カラー・表面モノクロ・裏面カラー・裏面モノクロ等のデザインテンプレートを作成します。

### 2 デザイングループ別に、デザインテンプレートの登録用ファイルを書き出します。

商品設計で行ったデザイングループ別に、作成したデザインテンプレートをまとめ、登録用ファイルとして書き出しておきます。

これ以降の作業は、バックオフィス(管理画面)にログインして行います。

「運用ガイド2(名刺・封筒) マスター登録編」を参照してください。

### 3 商品の情報を登録します。

バックオフィスにログインし、商品の情報を登録します。

### 4 部材(用紙)の情報を登録します。

全商品の部材(用紙)の情報を登録します。部材の名称、サムネイル画像等を登録します。

### 5 デザイングループを登録し、デザインテンプレートを読み込みます。

商品設計どおりにデザイングループを登録し、2で書き出しておいたデザインテンプレートの登録用ファイルを読み込みます。

### 6 商品に、部材とデザイングループを結び付けます。

3で登録した商品それぞれに、4で登録した部材と、5で登録したデザイングループを正しく結び付けます。

### 7 デザイン選択時のカテゴリを登録し、カテゴリごとにデザインを割り当てます。

注文時のデザイン選択画面に表示される、各種名刺デザインのカテゴリを作成し、デザインを割り当てます。

### 8 価格データを作成し、登録します。

商品設計で作成した価格表を元に、Excel で所定の価格登録用 CSV ファイルを作成し、バックオフィスに読み込みます。

以上でショップサイトに名刺デザインが表示され、注文できるようになります。

## 2

# 封筒商材の商品設計

封筒商材をジグミーシステムに登録するにあたり、事前に必要なことについて解説します。

## 2.1 商品登録の準備(封筒)

商品

ジグミーシステムでは、注文者が購入する封筒を、「商品」というグループごとに登録します。封筒の商品構造は、「封筒サイズ」(角2・長3など)を基本とします。それに「オプション」(窓付・郵便枠付など)、「封筒種類」(クラフト・ケントなど)が関連し、価格体系が結び付いてひとつの商品となります。ひとつの商品には、複数のデザインも結び付いています。

### 用意する情報

封筒はオプションや封筒種類が多数あるため、登録するデータはどうしても大量になる傾向にあります。初めに販売する封筒の種類を整理し、封筒価格表を作ります。

#### 1. 封筒価格表

次の例に従って封筒価格表の元データを用意してください。

封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格									
					100 枚	200 枚	300 枚	400 枚	500 枚	1000 枚	2000 枚	3000 枚	5000 枚	10000 枚
角2	(なし)	クラフト		#E6B87D						18000	36600	52400	90200	160600
	窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200	37800	55500	91400	16200
		ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200	37800	55500	91400	16200
	※1 〒枠付	カラー	グレー	#CCCCCC										
			ブルー	#F0FFFF										
			オレンジ	#FFDAB9	6000	7800	9600	11300	13000	24000	35500	58000	80400	148000
			クリーム	#FFFFFF0										
長3	のり付+ 窓付	ハーフ ーンカラ ー	グリーン	#CCFFCC										
			グレー	#D3D3D3										
			ブルー	#E0FFFF	6200	8000	9800	11500	15200	24200	36700	58200	80600	148200
			オレンジ	#FFF5EE										
			クリーム	#FDF5E6										
			グリーン	#99FFCC										

- ・封筒サイズが同じでも、オプションや封筒種類が異なる場合は別の価格行に分けます。
- ・オプションが同じでも、封筒種類が異なる場合は別の価格行に分けます。

※1 封筒種類が同じでも、オプションが異なる場合は別の価格行に分けます。

## 商品設計で確認するもの

商品  
部材  
デザイングループ

商品設計では、バックオフィスへの登録がしやすくなるよう、価格表をもとに「商品」「部材」「デザイングループ」の種類を確認してまとめておきます。

### ●用意した封筒価格表の元データ

封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格		
					100 枚	200 枚	0000 枚
角2	(なし)	クラフト		#E6B87D			160600
	窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	16200
		ケント		#FFFFFF	5500	700	16200
	干枠付	カラー	グレー	#CCCCCC	6000	780	148000
			ブルー	#F0FFFF			
			オレンジ	#FFDAB9			
			クリーム	#FFFFFF0			
			グリーン	#CCFFCC			
長3	のり付＋窓付	ハーフトーンカラー	グレー	#D3D3D3	6200	800	148200
			ブルー	#E0FFFF			
			オレンジ	#FFF5EE			
			クリーム	#FDF5E6			
			グリーン	#99FFCC			

### ●封筒価格表をもとに整理・確認するもの

商品・部材・デザイングループの種類をまとめます。

商品	部材	デザイン グループ	封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格		0000 枚	
								100 枚	200 枚		
角2 クラフト	角2 クラフト	①	角2	(なし)	クラフト		#E6B87D			160600	
角2 窓付 ケント	角2 窓付 ケント	②		窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	16200	
角2 干枠付 ケント	角2 干枠付 ケント	③			ケント		#FFFFFF	5500	700	16200	
角2 干枠付 カラー	角2 干枠付 カラー(グレー)			干枠付	カラー	カラー	グレー	#CCCCCC	6000	780	148000
	角2 干枠付 カラー(ブルー)						ブルー	#F0FFFF			
	角2 干枠付 カラー(オレンジ)						オレンジ	#FFDAB9			
	角2 干枠付 カラー(クリーム)						クリーム	#FFFFF0			
	角2 干枠付 カラー(グリーン)						グリーン	#CCFFCC			
長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(グレー)	④	長3	のり付+ 窓付	ハーフト ーンカラ ー	グレー	#D3D3D3	6200	800	148200	
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(ブルー)					ブルー	#E0FFFF				
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(オレンジ)					オレンジ	#FFF5EE				
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(クリーム)					クリーム	#FDF5E6				
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(グリーン)					グリーン	#99FFCC				

具体的なまとめ方については、次ページ以降で解説します。

## 商品の構造とまとめ方

最初に、価格表をもとに「商品」の区分を確認します。

### 1. 商品とは、価格を決定する要素です

ジグミーという商品とは、封筒価格表の1つの価格行を決定する、封筒サイズ・オプション・封筒種類の組み合わせです。この例では価格行は5つあるので、商品も5つとなります。

価格行=5つ

	封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格						
						100 枚	200 枚	300 枚	400 枚	500 枚	1000 枚	
①		(なし)	クラフト		#E6B87D						18000	①
②		窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200	②
③			ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200	③
④	角2	干桢付	カラー	グレー	#CCCCCC	6000	7800	9600	11300	13000	24000	④
				ブルー	#F0FFFF							
				オレンジ	#FFDAB9							
				クリーム	#FFFFFF							
⑤	長3	のり付+窓付	ハーフ ーンカラ ー	グリーン	#CCFFCC	6200	8000	9800	11500	15200	24200	⑤
				グレー	#D3D3D3							
				ブルー	#E0FFFF							
				オレンジ	#FFF5EE							
				クリーム	#FDF5E6							
				グリーン	#99FFCC							

この価格表に対応する商品は5つとなります。それぞれ任意の商品名を付けます。

▶「商品名」とは、注文者が選択する封筒のデザイン名とは異なります。デザイン名はデザインテンプレートの作成時に、それぞれ別個に付けることができ、バックオフィスでの変更も可能です。

商品	商品名(例)
①	角2 クラフト
②	角2 窓付 ケント
③	角2 干桢付 ケント
④	角2 干桢付 カラー
⑤	長3 のり付+窓付 ハーフーンカラー

商品=個別の封筒デザインではないことに注意してください。ひとつの商品には、複数の封筒デザインを結び付けられます。



●同じ封筒(例・角2 クラフト)に、カラー印刷・1色印刷の違いがある場合は、印刷色を異なるオプションとして扱い、商品を分けてください。

	封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格						
						100 枚	200 枚	300 枚	400 枚	500 枚	1000 枚	
①-1		カラー印刷	クラフト		#E6B87D						18000	
①-2		1色印刷	クラフト		#E6B87D						18700	
②		窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200	
③			ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200	
④	角2	干桢付	カラー	グレー	#CCCCCC	6000	7800	9600	11300	13000	24000	
				ブルー	#F0FFFF							
				オレンジ	#FFDAB9							
				クリーム	#FFFFFF							
⑤	長3	のり付+窓付	ハーフ ーンカラ ー	グリーン	#CCFFCC	6200	8000	9800	11500	15200	24200	
				グレー	#D3D3D3							
				ブルー	#E0FFFF							
				オレンジ	#FFF5EE							
				クリーム	#FDF5E6							
				グリーン	#99FFCC							

この場合、合計6商品となります。


商品	商品名(例)
①-1	角2 カラー印刷 クラフト
①-2	角2 1色印刷 クラフト
②	角2 窓付 ケント
③	角2 干桢付 ケント
④	角2 干桢付 カラー
⑤	長3 のり付+窓付 ハーフーンカラー

## 2. 商品には部材とデザイングループが結び付きます

ひとつの商品には、複数の部材(封筒色)と、複数のデザインが結び付けられます。ただしデザインは、あらかじめ1つの「デザイングループ」にまとめて結び付けます。

封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格					
					100 枚	200 枚	300 枚	400 枚	500 枚	1000 枚
①	(なし)	クラフト		#E6B87D						18000
②	窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200
③		ケント		#FFFFFF	5500	7000	8100	9300	10000	19200
④	角2 〒枠付	カラー	グレー ブルー オレンジ クリーム グリーン	#CCCCCC #F0FFFF #FFDAB9 #FFFFFF0 #CCFFCC	6000	7800	9600	11300	13000	24000
⑤	長3 のり付+ 窓付	ハーフ ーンカラ ー	グレー ブルー オレンジ クリーム グリーン	#D3D3D3 #E0FFFF #FFF5EE #FDF5E6 #99FFCC	6200	8000	9800	11500	15200	24200

ひとつの商品には…

商品④ 角2 〒枠付 カラー				
価格		部材(封筒色)	デザイングループ	
100 枚	¥ 6,000	<div></div> グレー	<div>角2・〒枠付</div> <div></div>	
200 枚	¥ 7,800	<div></div> ブルー		
300 枚	¥ 9,600	<div></div> オレンジ		
400 枚	¥ 11,300	<div></div> クリーム		
500 枚	¥ 13,000	<div></div> グリーン		
1000 枚	¥ 24,000			

複数の部材と、ひとつのデザイングループを結び付けます。  
ひとつのデザイングループには、複数のデザインが含まれます。

商品の数だけ、結び付ける部材と、デザイングループの内容を考えます。  
詳しくは次ページ以降で解説します。

## 部材のまとめ方

商品には、それぞれ部材として封筒色を結び付ける必要があります。価格表をもとに、登録する部材の種類を確認しておきます。


### 1. 封筒色を部材とします

商品ごとに結び付ける部材は、その商品で選択できる「封筒色名」となります。


封筒色名がない商品の場合は、「封筒種類」に基づいた封筒色を部材とします。

	商品	封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格		
							100 枚	200 枚	1000 枚
封筒色名が ない商品	①角2 クラフト	角2	(なし)	クラフト	(なし)	#E6B87D			160600
	②角2 窓付 ケント		窓付	ケント	(なし)	#FFFFFF	5500	7000	16200
	③角2 干桢付 ケント			ケント	(なし)	#FFFFFF	5500	7000	16200
封筒色名が ある商品	④角2 干桢付 カラー	角2	干桢付	カラー	グレー	#CCCCCC	6000	7800	148000
					ブルー	#F0FFFF			
					オレンジ	#FFDAB9			
					クリーム	#FFFFFF00			
					グリーン	#CCFFCC			
	⑤長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー	長3	のり付+ 窓付	ハーフト ーンカラ ー	グレー ブルー オレンジ クリーム グリーン	#D3D3D3 #E0FFFF #FF5EE6 #FDF5E6 #99FFCC	6200	8000	148200

商品③ 角2 干桢付 ケント		
価格	部材	デザイングループ
100 枚 ￥5,500	<div>ケント</div>	<div>角2・干桢付</div> 
200 枚 ￥7,000		
300 枚 ￥8,100		
400 枚 ￥9,300		
500 枚 ￥10,000		
1000 枚 ￥19,200		

商品④ 角2 干桢付 カラー		
価格	部材	デザイングループ
100 枚 ￥6000	<div>グレー</div> <div>ブルー</div> <div>オレンジ</div> <div>クリーム</div> <div>グリーン</div>	<div>角2・干桢付</div> 
200 枚 ￥7,800		
300 枚 ￥9,600		
400 枚 ￥11,300		
500 枚 ￥13,000		
1000 枚 ￥24,000		

## 2. 同じ封筒色名でも、商品が違うときは別の部材と考えます

この価格表例では、角2・干枠付・カラーと、長3・のり付＋窓付＋ハーフトーンカラーの2商品で、選択できる封筒色名が同一となっています。

しかし、同じ色名でも商品が異なると、部材としては別の扱いになります。

商品	封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格		1000 枚
						100 枚	200 枚	
①角2 クラフト	角2	(なし)	クラフト		①#E6B87D			160600
②角2 窓付 ケント		窓付	ケント		②#FFFFFF	5500	7000	162000
③角2 干枠付 ケント		干枠付	ケント		③#FFFFFF	5500	7000	162000
④角2 干枠付 カラー			カラー	グレー	④#CCCCCC	6000	7800	148000
				ブルー	⑤#F0FFFF			
				オレンジ	⑥#FFDAB9			
				クリーム	⑦#FFFFF0			
				グリーン	⑧#CCFFCC			
⑤長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー	ハーフト ーンカラ ー	グレー	⑨#D3D3D3	6200	8000	148200		
		ブルー	⑩#E0FFFF					
		オレンジ	⑪#FFF5EE					
		クリーム	⑫#FDF5E6					
		グリーン	⑬#99FFCC					

どちらにも同じ色がありますが、商品が違うので、別の部材とします。

この例では、必要な部材は13個となります。

13個の部材に部材名を付け、表示用の封筒色 RGB とサムネイル画像も作成します。

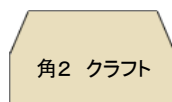
▶ 封筒色RGBは注文時の画面表示用のものです。版下がこの色で着色されるわけではありません。

部材	部材名(例)	封筒色 RGB	サムネイル画像
①	角2 クラフト	#E6B87D	
②	角2 窓付 ケント	#FFFFFF	
③	角2 干枠付 ケント	#FFFFFF	
④	角2 干枠付 カラー(グレー)	#CCCCCC	
⑤	角2 干枠付 カラー(ブルー)	#00FFFF	
⑥	角2 干枠付 カラー(オレンジ)	#FFDAB9	
⑦	角2 干枠付 カラー(クリーム)	#FFFFF0	
⑧	角2 干枠付 カラー(グリーン)	#CCFFCC	
⑨	長3 のり付・窓付 ハーフトーンカラー(グレー)	#D3D3D3	
⑩	長3 のり付・窓付 ハーフトーンカラー(ブルー)	#E0FFFF	
⑪	長3 のり付・窓付 ハーフトーンカラー(オレンジ)	#FFF5EE	
⑫	長3 のり付・窓付 ハーフトーンカラー(クリーム)	#FDF5E6	
⑬	長3 のり付・窓付 ハーフトーンカラー(グリーン)	#99FFCC	

## 3. 封筒色名(部材)のサムネイル画像

注文時に封筒色を選択する際は、部材(封筒色名)ごとに用意されたサムネイル画像が表示されます。あらかじめ封筒色のサムネイル画像を作成しておきます。

### ■ 画像例1…封筒の形やサイズを描き込んだもの



実際の封筒をイメージしやすいですが、同じ色でも封筒サイズが変わると、画像を作り分ける必要があります。

### ■ 画像例2…色だけを表したもの



色しかわかりませんが、同じ封筒色の部材が複数ある場合、画像を使い回せる利点があります。取り扱い封筒が多い場合、こちらの方法をお勧めします。

サイズは概ね 120×70 ピクセル以内で、JPEG・PNG・GIF のいずれかで作成します。

# デザイングループのまとめ方

ひとつの商品には、デザイングループをひとつ結び付けます。ひとつのデザイングループには、その商品で選択できるデザインをすべて割り当てます。

## 1. 商品ごとにデザイングループを割り当てる

ひとつの商品のデザインは、すべて同じ封筒サイズで、同じオプション(窓付きなど)を考慮したものではなくてはなりません。これらが同一のデザインをひとつのデザイングループにまとめ、それを商品に割り当てるのが基本です。

### ●例 商品「角2 干枠付 カラー」

商品④ 角2 干枠付 カラー		
価格		部材
100 枚	¥ 6000	グレー
200 枚	¥ 7,800	ブルー
300 枚	¥ 9,600	オレンジ
400 枚	¥ 11,300	クリーム
500 枚	¥ 13,000	グリーン
1000 枚	¥ 24,000	

デザイングループ

角2・干枠付

角2サイズ、干枠付のデザインだけをまとめたデザイングループ  
 ※長3や、角2窓付など、他の封筒サイズやオプションの商品には共用できません。

## 2. 封筒サイズとオプションが同じ商品は、同じデザイングループを共用する

部材が違って、封筒サイズ(角2・長3…)とオプション(干枠付・窓付…)が同じであれば、印刷時の版下となるデザインテンプレートは同じです。このような商品同士の場合、同じデザイングループを共用します。

商品③ 角2・干枠付・ケント		
価格		部材
100 枚	¥ 5,500	ケント
200 枚	¥ 7,000	
300 枚	¥ 8,100	
400 枚	¥ 9,300	
500 枚	¥ 10,000	

デザイングループ

角2・干枠付

封筒サイズ(角2)とオプション(干枠付)が同じなので、部材が異なっても、同じデザイングループを結び付ける

商品④ 角2・干枠付・カラー		
価格		部材
100 枚	¥ 6000	グレー
200 枚	¥ 7,800	ブルー
300 枚	¥ 9,600	オレンジ
400 枚	¥ 11,300	クリーム
500 枚	¥ 13,000	グリーン

デザイングループ

角2・干枠付

### 3. デザイングループの割り当てを整理する

以上のように、商品ごとに1つのデザイングループを結び付けることを基本とし、共用できる商品は共用して、作成するデザイングループの種類を決めます。

この例では4種のデザイングループを作成し、5個の商品に割り当てます。

商品	部材	デザイン グループ	封筒 サイズ	オプション	封筒 種類	封筒 色名	封筒色 RGB	価格		
								100 枚	200 枚	3000 枚
角2 クラフト	角2 クラフト	①	角2	(なし)	クラフト		#E6B87D			160600
角2 窓付 ケント	角2 窓付 ケント	②		窓付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	16200
角2 干桢付 ケント	角2 干桢付 ケント	③		干桢付	ケント		#FFFFFF	5500	7000	16200
角2 干桢付 カラー	角2 干桢付 カラー(グレー)				カラー	グレー	#CCCCCC	6000	7800	148000
	角2 干桢付 カラー(ブルー)					ブルー	#F0FFFF			
	角2 干桢付 カラー(オレンジ)					オレンジ	#FFDAB9			
	角2 干桢付 カラー(クリーム)					クリーム	#FFFFFF0			
	角2 干桢付 カラー(グリーン)					グリーン	#CCFFCC			
長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(グレー)	④	長3	のり付+ 窓付	ハーフト ーンカラ ー	グレー	#D3D3D3	6200	8000	148200
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(ブルー)				ブルー	#E0FFFF				
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(オレンジ)				オレンジ	#FFF5EE				
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(クリーム)				クリーム	#FDF5E6				
	長3 のり付+窓付 ハーフトーンカラー(グリーン)				グリーン	#99FFCC				

デザイングループ③は、「角2 干桢付 ケント」「角2 干桢付 カラー」の2商品で共用しています。

ひとつのデザイングループの中に登録するデザインは、すべて同じ封筒サイズ・同じオプションになるように考慮して作成しなくてはなりません。

なお、各封筒サイズに対応した、基本的なデザインテンプレートを「ベーステンプレート」として用意しています。これをデザイン情報管理ツールでコピーとして開き、必要な部分を修正することにより、新しいデザインテンプレートを作成することができます。

## 2.2 データ登録の進め方

商品の設計が終わったら、次の順に進めてください。

初めに封筒のデザインテンプレートを作成します。これには専用のテンプレートエディタ「デザイン情報管理ツール」を使用します。

「運用ガイド1(名刺・封筒) デザイン作成編」を参照してください。

### 1 デザインテンプレートを作成します。

商品設計のとおり、作成するデザイングループに対応する個別のデザインテンプレートを作成します。「角2」「角2 干枠付」「角2 窓付」「長3 窓付」など、注文画面に並べるものをすべて作成します。

### 2 デザイングループ別に、デザインテンプレートの登録用ファイルを書き出します。

商品設計で行ったデザイングループ別に、作成したデザインテンプレートをまとめ、登録用ファイルとして書き出しておきます。

これ以降の作業は、バックオフィス(管理画面)にログインして行います。

「運用ガイド2(名刺・封筒) マスター登録編」を参照してください。

### 3 商品の情報を登録します。

バックオフィスにログインし、商品の情報を登録します。

### 4 部材(封筒色)の情報を登録します。

全商品の部材の情報を登録します。部材の名称、表示色 RGB 値、サムネイル画像等を登録します。

### 5 デザイングループを登録し、デザインテンプレートを読み込みます。

商品設計どおりにデザイングループを登録し、2で書き出しておいたデザインテンプレートの登録用ファイルを読み込みます。

### 6 商品に、部材とデザイングループを結び付けます。

3で登録した商品それぞれに、4で登録した部材と、5で登録したデザイングループを正しく結び付けます。

### 7 デザイン選択時のカテゴリを登録し、カテゴリごとにデザインを割り当てます。

注文時のデザイン選択画面に表示される、各種封筒デザインのカテゴリを作成し、デザインを割り当てます。

### 8 価格データを作成し、登録します。

封筒価格表を元に、Excel で所定の価格登録用 CSV ファイルを作成し、バックオフィスに読み込みます。

以上でショップサイトに封筒デザインが表示され、注文できるようになります。

# 3

## 挨拶状・年賀状商材の商品設計

挨拶状・年賀状（喪中はがき含む）商材をジグミーシステムに登録するにあたり、事前に必要なことについて解説します。

### 3.1 商品登録の準備（挨拶状・年賀状）

ジグミーシステムでは、注文者が購入する挨拶状・年賀状を、同一の価格帯の「商品」というグループごとに登録します。

ひとつの「商品」には、それぞれの価格体系が対応します。商品には選択できるデザインをまとめた「デザイングループ」、複数の「部材」（はがき種類）が結びついています。

### 価格表と商品構造

#### 1. 価格表

次の例に従って、価格表の元データを用意してください。

商品	デザイングループ	部材 (はがき種類)	価格体系										
			10枚	20枚	30枚	40枚	50枚	60枚	70枚	80枚	90枚	100枚	+10枚毎
モノクロ	モノクロ	私製 年賀はがき	2100	2520	2940	3360	3780	4160	4510	4850	5180	5480	220
2・3色	2・3色	私製 年賀はがき	2850	3370	3890	4410	4930	5390	5830	6250	6650	7030	280
特選	特選	私製 年賀はがき	3600	4520	5440	6360	7280	8100	8870	9610	10320	10980	550
スタンダード	スタンダード	私製 年賀はがき	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300
フォトフレーム	フォトフレーム	私製 年賀はがき 写真用	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300
ネット限定	ネット限定	私製 年賀はがき	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300
ポップ&キュート	ポップ&キュート	私製 年賀はがき	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300

この例の商品は、7つのデザイングループ（モノクロ、2・3色、特選…）が元になっています。ひとつの商品に、ひとつのデザイングループ、複数の部材、ひとつの価格体系が結び付きます。

#### ●ひとつの商品「モノクロ」に注目すると…

商品	デザイングループ	部材 (はがき種類)	価格体系				
			10枚	20枚	30枚	100枚	+10枚毎
モノクロ	モノクロ 	私製 年賀はがき 	2100	2520	2940	5480	220

同じ価格・仕様のデザインが、ひとつのデザイングループ（ここでは「モノクロ」）にまとめられ、この商品に割り当てられています。

この商品のすべてのデザインが選択できる部材です。

この商品のすべてのデザインに共通な価格体系です。

ひとつのデザイングループに含まれるデザインは、すべて同じ価格体系なので、違う価格体系のデザインは別のデザイングループに分ける必要があります。商品も別になります。

## 商品のまとめ方

ジグミーシステムに登録する挨拶状・年賀状を、具体的な商品にまとめる方法について解説します。この作業をしっかりと行わないと、商品や価格データの登録ができません。

1. デザイングループと価格体系を考え、商品を決める

➡

2. 商品ごとに、選択できる部材を割り当てる

### 1. デザイングループと価格体系を考え、商品を決める

前ページの要領で、販売するデザインをデザイングループに分け、価格体系を考えます。これによって商品の種類が決まります。

この例では7つのデザイングループを元にして、7つの商品を決めています。

商品名はデザイングループ名とは別に付けられますが、同じにしておいたほうがわかりやすいでしょう。

商品	デザイングループ	部材 (はがき種類)	価格体系										
			10枚	20枚	30枚	40枚	50枚	60枚	70枚	80枚	90枚	100枚	+10枚毎
① モノクロ	モノクロ	A私製 B年賀はがき	2100	2520	2940	3360	3780	4160	4510	4850	5180	5480	220
② 2・3色	2・3色	A私製 B年賀はがき	2850	3370	3890	4410	4930	5390	5830	6250	6650	7030	280
③ 特選	特選	B年賀はがき	3600	4520	5440	6360	7280	8100	8870	9610	10320	10980	550
④ スタンダード	スタンダード	A私製 B年賀はがき	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300
⑤ フォトフレーム	フォトフレーム	A私製 B年賀はがき C写真用	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300
⑥ ネット限定	ネット限定	A私製 B年賀はがき	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300
⑦ ポップ&キュート	ポップ&キュート	A私製 B年賀はがき	3000	3570	4140	4710	5280	5790	6270	6730	7170	7580	300

### 2. 商品ごとに、選択できる部材を割り当てる

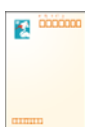
この例では3種類の部材(はがき種類)を各商品に割り当てています。



A 私製



B 年賀はがき



C 写真用



#### ●商品データ等の登録について

ここまでの要領で決めた商品の情報(商品名など)、デザイングループ、部材、およびそれらの結び付けは、バックオフィスの「商品マスター管理」機能にてシステムに登録します。詳しくは「運用ガイド2(年賀状・挨拶状) マスター登録編」にて解説します。

## 価格表のまとめ方

価格表をシステムに登録する際は、Excel などを利用し、価格登録用 CSV ファイルというファイルに入力します。あらかじめ、入力しやすい形態に価格表の形を整理しておく便利です。前ページの商品の一部を例にとると、次のようになります。

商品	部材	価格体系	
モノクロ	私製	10 枚	¥2,100
		20 枚	¥2,520
		30 枚	¥2,940
		40 枚	¥3,360
		50 枚	¥6,000
	年賀はがき	10 枚	¥2,100
		20 枚	¥2,520
		30 枚	¥2,940
		40 枚	¥3,360
		50 枚	¥6,000
2・3色	私製	10 枚	¥2,850
		20 枚	¥3,370
		30 枚	¥3,890
		40 枚	¥4,410
		50 枚	¥4,930
	年賀はがき	10 枚	¥2,850
		20 枚	¥3,370
		30 枚	¥3,890
		40 枚	¥4,410
		50 枚	¥4,930
特選	年賀はがき	10 枚	¥3,600
		20 枚	¥4,520
		30 枚	¥5,440
		40 枚	¥6,360
		50 枚	¥7,280
スタンダード	私製	10 枚	¥3,000
		20 枚	¥3,570
		30 枚	¥4,140
		40 枚	¥4,710
		50 枚	¥5,280
	年賀はがき	10 枚	¥3,000
		20 枚	¥3,570
		30 枚	¥4,140
		40 枚	¥4,710
		50 枚	¥5,280
フォトフレーム	私製	10 枚	¥3,000
		20 枚	¥3,570
		30 枚	¥4,140
		40 枚	¥4,710
		50 枚	¥5,280
	年賀はがき	10 枚	¥3,000
		20 枚	¥3,570
		30 枚	¥4,140
		40 枚	¥4,710
		50 枚	¥5,280
	写真用	10 枚	¥3,000
		20 枚	¥3,570
		30 枚	¥4,140
		40 枚	¥4,710
		50 枚	¥5,280

この例では、ひとつの商品のすべての部材の価格体系が同一ですが、部材によって異なる価格体系を入力することも可能です。

実際の価格表データの入力方法については、「運用ガイド2 マスター登録編」の「6. 価格・送料の登録」で解説します。

## 3.2 データ登録の進め方

商品の設計が終わったら、次の順に進めてください。

初めに挨拶状・年賀状のデザインテンプレートを作成します。これには専用のテンプレートエディタ「デザイン情報管理ツール」を使用します。

「運用ガイド1(年賀状・挨拶状) デザイン作成編」を参照してください。

### 1 デザインテンプレートを作成します。

商品設計のとおり、商品ごとのデザイングループにまとめることを意識して、デザインテンプレートを作成します。

### 2 デザイングループ別に、デザインテンプレートの登録用ファイルを書き出します。

商品設計で行ったデザイングループ別に、作成したデザインテンプレートをまとめ、登録用ファイルとして書き出しておきます。

これ以降の作業は、バックオフィス(管理画面)にログインして行います。

「運用ガイド2(年賀状・挨拶状) マスター登録編」を参照してください。

### 3 デザイングループを登録し、デザインテンプレートを読み込みます。

バックオフィスにログインし、商品設計どおりにデザイングループを登録し、2で書き出しておいたデザインテンプレートの登録用ファイルを読み込みます。

### 4 部材(はがき種類)の情報を登録します。

全商品の部材(はがき種類)の情報を登録します。名称、サムネイル画像等を登録します。

### 5 商品の情報を登録します。

商品の情報(商品名など)を登録します。

### 6 商品に、部材とデザイングループを結び付けます。

5で登録した商品それぞれに、4で登録した部材と、3で登録したデザイングループを正しく結び付けます。

### 7 デザイン選択時のカテゴリを登録し、カテゴリごとにデザインを割り当てます。

注文時のデザイン選択画面に表示される、各種デザインのカテゴリを作成し、デザインを割り当てます。

### 8 価格データを作成し、登録します。

商品設計で作成した価格表を元に、Excel で所定の価格登録用 CSV ファイルを作成し、バックオフィスに読み込みます。

以上でショップサイトに挨拶状・年賀状デザインが表示され、注文できるようになります。

**ジグミー(R)**  
**運用ガイド0 商品設計編**

●発行日

2013 年 5 月 23 日 第 2 版

●発行者

株式会社アジェンダ